

【2010年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2009年9月期		09年3月期	08年9月期	
			09/3期比			08/9期比
新契約年換算保険料	(百万円)	25,244	—	28.3%増	41,284	19,681
うち第三分野	(百万円)	—	—	—	—	—
保有契約年換算保険料	(百万円)	157,214	16.8%増	35.6%増	134,658	115,921
うち第三分野	(百万円)	5,237	4.8%減	9.5%減	5,500	5,789
保険料等収入	(百万円)	145,047	—	19.5%増	245,750	121,350
うち個人保険分野	(百万円)	140,802	—	19.8%増	237,756	117,529
うち団体保険分野	(百万円)	1,022	—	18.8%減	2,696	1,258
新契約高	(百万円)	131,626	—	24.2%増	216,270	105,997
保有契約高	(百万円)	2,199,361	3.7%増	0.0%減	2,120,000	2,199,757
解約・失効高	(百万円)	56,893	—	20.8%減	135,301	71,849
解約・失効率	(%)	2.68	—	—	5.98	3.18

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険であります。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出（2009年9月期、08年9月期の解約失効率は年換算前）しております。

※保険料収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、うち団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、

1年あたりの保険料に換算した金額等（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等）であります。

※09/3期比、08/9期比は増減率であります。

②資産の状況等

		2009年9月末		09年3月末	08年9月末	
			09/3末比			08/9末比
総資産	(百万円)	1,317,563	12.5%増	19.7%増	1,171,138	1,100,845
実質純資産額	(百万円)	93,180	6.9%増	72.8%増	87,155	53,926
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	19.0	1.9 ^ホ イント増	7.4 ^ホ イント増	17.1	11.6
ソルベンシー・マージン比率	(%)	764.6	72.2 ^ホ イント低下	103.6 ^ホ イント増	836.8	661.0

※09/3末比、08/9末比は増減率(実質純資産額/一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減^ホイント)であります。

③基礎利益・逆ざや

		2009年9月期		09年3月期	08年9月期	
			09/3期比			08/9期比
基礎利益	(百万円)	17,355	—	—	△ 40,836	△ 13,199

※09/3期比、08/9期比は増減率であります。

		2010年3月末の予想	2009年3月末の実額
逆ざや額	(百万円)	3,000	3,651

④準備金

		2009年9月末		09年3月末	08年9月末
			09/3末比		
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,233,744	143,568増	185,345増	1,048,399
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	405,070	23,469減	7,924減	412,995
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	828,674	167,038増	193,270増	635,403
価格変動準備金	(百万円)	437	4増	13増	424
危険準備金	(百万円)	21,696	4,188増	5,603増	16,093
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	6,988	1,701増	1,933増	5,055
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	—	—	—	—
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	14,278	2,466増	3,650増	10,628
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	428	19増	19増	409
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—

※09年3月末の危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載しております。

※09/3末比、08/9末比は増減実額であります。

⑤含み損益

		2009年9月末		09年3月末	08年9月末
			09/3末比		
有価証券	(百万円)	4,124	1,125増	4,431増	△ 307
うち国内株式	(百万円)	—	—	—	—
うち国内債券	(百万円)	4,061	1,063増	4,257増	△ 196
うち外国証券	(百万円)	△ 3	3減	3減	0
不動産	(百万円)	—	—	—	—

※09/3末比、08/9末比は増減実額であります。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
		国内株式	(百万円)
国内債券	(百万円)	6,142減	横ばい
外国株式等	(百万円)	運用実績なし	運用計画なし
外国債券	(百万円)	運用実績なし	運用計画なし
不動産	(百万円)	11減	運用計画なし

⑦資産の損益がゼロになる水準

		2009年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式(TOPIX)	(ポインタ)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	1.6%
外国証券	(円)	111.67円

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出しております。

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出しております。

※外国証券はドル円換算にて算出しております。

⑧2010年3月期の業績見通し

		2010年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	250,000
基礎利益	(百万円)	△ 4,000
保有契約高	(百万円)	2,130,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	170,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2009年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

ii 銀行への拠出(総額)

		2009年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	11,997

⑩職員数

		2009年9月末		09年3月末	08年9月末
			09/3末比		
営業職員	(人)	—	—	—	—
内勤職員	(人)	342	0.6%増	340	344

※09/3末比、08/9末比は増減率であります。

⑪銀行窓販の状況

		2009年9月期		09年3月期	08年9月期	窓販開始以来実績 02年10月～09年9月	
			08/9期比				
変額年金保険	新契約件数	(件)	22,106	34.4%増	35,844	16,454	105,629
	金額(収入保険料)	(百万円)	125,643	19.2%増	209,016	105,431	865,821
定額年金保険	新契約件数	(件)	5	—	—	—	5
	金額(収入保険料)	(百万円)	39	—	—	—	39

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※定額年金保険は2009年8月より販売を開始しております。

※08/9期比は増減率であります。

		2009年9月期		09年3月期	08年9月期	窓販開始以来実績 05年12月～09年9月
			08/9期比			
一時払終身保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
一時払養老保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※一時払終身保険及び一時払養老保険の取り扱いはありません。

		2009年9月期		09年3月期	08年9月期	窓販開始以来実績 07年12月～09年9月
			08/9期比			
全面解禁商品	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※全面解禁商品の取り扱いはありません。

以上

その他質問項目（2009年9月）

○「不払い問題」に対する主な再発防止策（カッコ内はその金額）

1. 業務改善に向けた主な再発防止策
 保険金等の適切なお支払いに向けて、以下の3点を柱とする保険金等支払管理態勢の充実を図っています。
- ①支払管理部門の態勢整備
 - ②支払監理室の設置による支払監理態勢の強化
 - ③お客さまの視点に立った業務運営の拡充
2. 保険金等の支払管理態勢の強化に向けた今後の取組み（継続取組み項目を含む）
 保険金等の適切なお支払いに向けて、今後もいっそう「お客さまの視点に立って保険金等についてお支払いできるものは全てお支払いする」という取組み方針のもと、引続き以下の取組みを実施してまいります。
- ①お客さまの視点に立った保険金等のお支払いに向けた規程等の整備
 - ②「サービス監理委員会」による保険金等のお支払い態勢の監督強化
 - ③お客さまの視点に立ったご請求案内に向けた内部監査の強化
 - ④「ご契約内容のお知らせ」による保障内容の定期的なお知らせ
 - ⑤「保険金等をお支払いできる事例・お支払いできない事例」の作成
 - ⑥保険金等の請求・照会窓口の一元化及びお客さまへのきめ細やかな保全案内
 - ⑦失効したご契約に対するお客さま利便向上策の実施
 - ⑧お客さまが購入した商品について複数の保険金等の請求を同時に行いやすくするような商品の開発
 - ⑨約款の平明化及び簡素化

○証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

当中間会計期間末現在、該当はありません。

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2009年9月期	09年3月期	08年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 187	479	166
相場変動に起因する繰入額	(億円)	△ 239	389	121
新契約高に対応する繰入額	(億円)	51	89	45

※戻入額についてはマイナスで表示しております。

以上